

コスモス健康通信

肩こりや頭痛の原因がまぶたから？～眼瞼下垂症～

眼瞼下垂（がんけんかすい）症って何？

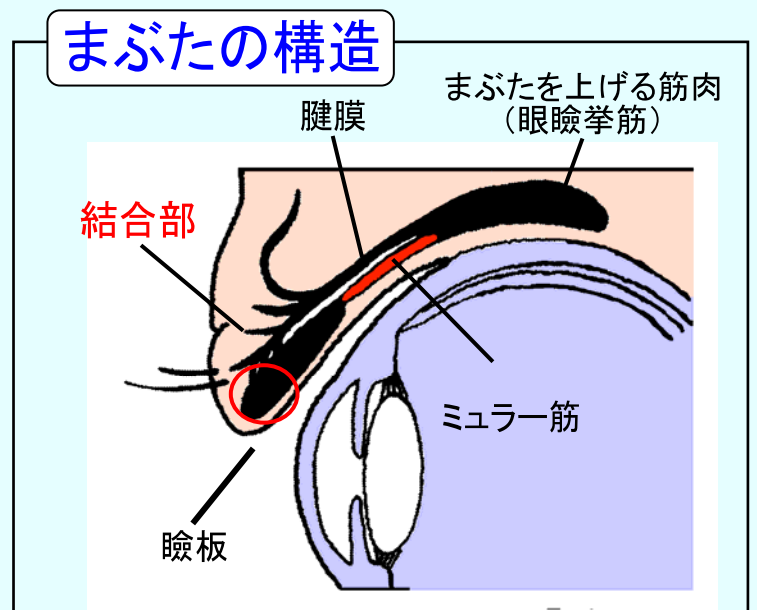
眼瞼下垂（がんけんかすい）とは「まぶた（眼瞼）が垂れ下がって（下垂）くる」症状のことです。

この症状は一般的に、加齢によって、皮膚の張りが失われて起こると思われているようです。しかし、最近では、まぶたのたるむ主な原因は、まぶたの内側にある「腱膜」の異常によって起こると言われています。

まぶたの上がる仕組み

まぶたの上げ下げは、まぶたの奥にある筋肉（眼瞼挙筋：がんけんきょきん）の働きによって行われます。この筋肉は途中から、薄い膜状の「腱膜」となり、「瞼板（まぶたの先端部分の板状の組織）」に付着しています。筋肉が収縮すると、腱膜に引っ張られるようにして瞼板が持ち上がり、まぶたが開くのです。

右図のように腱膜と瞼板の**結合部**はたいへんデリケートなものであるため、まぶたをこすることによって、結合が外れやすくなります。まぶたをまったくこすらない人はいないでしょうが、頻繁にこする人は、眼瞼下垂症になりやすいと言えます。



眼瞼下垂症になりやすい人は？

次のような方は、一般にまぶたを頻繁にこすることが多く、若くても眼瞼下垂症になりやすい傾向があります。

- コンタクトレンズを長期間使用している人
- アイライン、マスカラなどまぶたや目の周囲の化粧をする人
- 花粉症、アトピー性皮膚炎の人
- 逆さまつげの人
- 目を酷使したり、深夜労働をする人

眼瞼下垂症の主な自覚症状

- まぶたが重い
- 疲れる
- 頭痛、肩こり

眼瞼下垂症は保険適用の手術療法で治療できます。
お気軽に眼科医までご相談下さい。

眼瞼下垂と白内障におけるQ & A

眼瞼や水晶体の加齢性の変化で生じてくる眼瞼下垂と白内障について眼科医の先生に色々お伺いしました。

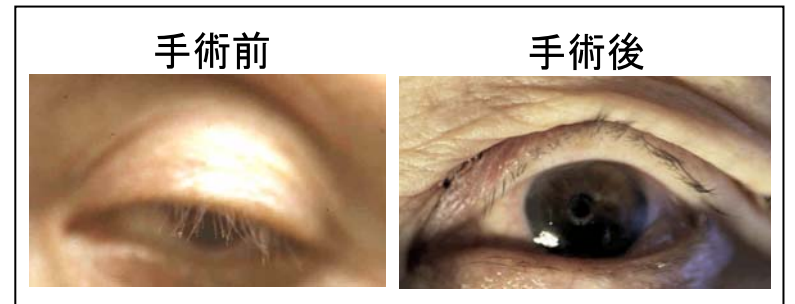
Q. 眼瞼下垂とは？

A. 上まぶた（上眼瞼）は重力に逆らって1日約1万回以上にわたって、まばたきをしています。お年を取るにしたがって、まぶたを動かしている筋肉の腱の付着部がはずれ、眼瞼は少しずつ下がってくるようになります。

Q. 症状はどんなものがありますか？

- A. ① まるでシャッターが下りた様になっているため、上方や耳側の視界が狭い。
- ② 下がった上まぶたを上げようとして、おでこの筋肉を使うため、目が疲れる。
- ③ 下がった眼瞼のため、あごを上げて物を見るようになります。そのため、首に絶えず負担がかかり、肩が凝る。

眼瞼下垂



- ④ まぶたが腫れぼったい感じや目尻が下がっているため、眠たそうな表情になる。

などが挙げられます。

こうした症状は、手術療法で楽に見られるようになり、また、視界も広がります。

手術は局所麻酔で行われ、入院せずに手術を受けたその日に帰ることができます。

Q. 白内障とは？

A. お年を取るにしたがって、カメラではレンズに相当する水晶体が混濁や膨張してきます。

まぶしくなる
明るいところで見えにくい

Q. 症状はどんなものがありますか？

- A. ① かすんで見える（人と出会っても顔がはっきり見えない）。
- ② 見えにくい（バスに乗る時、バスが来ても、バスの行き先が読めない）。
- ③ まぶしい（ギラギラして、物が見えづらい）。
- ④ 物がダブって見える（お月様が二つや三つに見える）。



などが挙げられます。

ほとんどの場合は、手術療法で明るくなります。

手術は局所麻酔で行われ、入院せずに、手術を受けたその日に帰ることができます。

二重、三重に見える

